

専門研修「高齢者保健福祉」

【日時】	令和2年8月14日（金）、18日（火）9：00～17：00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	67名
【講師】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治学院大学 社会学部 社会福祉学科 教授 和気 康太 氏 ・ 社会福祉法人白十字会 白十字ホーム長 西岡 修 氏 ・ 東邦大学大学院 看護学研究科 教授 岸 恵美子 氏 ・ 東京都 福祉保健局 高齢社会対策部 介護保険課 職員 ・ 香川法律事務所 所長 弁護士 香川 美里 氏 ・ 東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長・未来ビジョン研究センター 教授 飯島 勝矢 氏
【研修内容】	<p><目的> 高齢者保健福祉に関する基礎知識を習得し、職務遂行能力の向上を図る。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者保健福祉の現状と課題 ② 認知症の理解 ③ 高齢者虐待・セルフネグレクトの実態と対応 ④ 介護保険制度 ⑤ 成年後見制度 ⑥ 介護予防・フレイル予防 <div data-bbox="890 1093 1356 1451" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;"><講義の様子></p>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉全般から高齢者保健福祉への導入や現在、今後の展望などについて聞くことができ良かったです。 ・ 高齢者に関わっていく中で、認知症は密接な症状であり、重要なテーマであると感じました。 ・ 虐待に気づくことを一番の前提とし、そこからどう高齢者と養護者の生活の改善につなげていくか、考えていくべきであることが分かりました。 ・ フレイル予防として、当たり前であることをどのように区民へ働きかけて意識してもらうかが重要であり、課題であるのだということが分かりました。